

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年 4月 25日		
		作成部署	丹後土木事務所		
事業名	一般国道 482号	構想番号	土・丹後-構-19-2		
	交通安全施設等整備事業	地区名	京丹後市峰山町丹波～荒山地内		
概算事業費	9億円	事業期間	平成19年度 ～ 平成23年度		
事業概要	事業延長：L=1,000m 計画幅員：W=11.0m 2車線 歩道2.5m(片側) 歩道設置				
関連する公共事業	なし				
ガイドライン		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	
主要な評価の視点				環境評価	
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・都市化しつつある幹線道路の周辺で交通量が多く、歩行者の行き来もあるが、歩車分離がなされておらず、車両の速度低下を招いている。		・歩車分離を図ることにより、車両の速度を一定に保つことで温室効果ガスの発生を削減する。	○
	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・道路法線の変更により、既設構造物取り壊しによるAs殻・Co殻の産業廃棄物が大量に発生する。		・再利用資源としてリサイクルし、活用する。	△
	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・都市計画決定がなされており、今後都市化が予想されるため、街並みの景観に配慮する必要がある。		・都市部の幹線道路として、広い幅員に見合った良好な街並みの景観を整備する。	△
地域の環境像	本事業箇所は、都市化しつつあるため、都市景観の整備を念頭におきながら、生活環境の向上を図る必要がある。				
特記事項	なし。				

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)